

## 今月の納税

今月は県民税第3期、保険料第3期を納める月です。早めに準備して、納期限までに完納いたしましょう。

# 広報みまち

'65.10

No. 27

発行 三股町  
編集 総務課

秋

たけなわ

本格的な秋です。朝夕はぐつと秋冷身にしみて懶々秋色濃いのを感じます。柿、くりに続いてみかんも色づき、魚類も多く出まわっています。

天高く馬肥ゆる候と申しますが、馬ならずとも、なんでもおいしい食欲の候であります。又あちこちに楽のしい運動会も繰広げられて、まさに秋たけなわといったところです。

なんでも、もりもり食べて栄養を充分とり、そして澄みきった大気を胸一つば

いに吸いこみながら適度な運動を楽しめ、やがてこれから迎える寒さに堪える体力を備えたいものです。さて私達の地方は今年は台風の影響も少く、大豊作が予想されます。黄金のさざ波にも思わず顔のほころびる今日この頃です。

穀々刈取り、収穫、農家にとつては忙しさがついてまわりますが、ただ過重な労働だけに追われることなく、適度な休息をとりつゝ健康を楽のしみながら、豊作の喜びを味いたいものであります。

人間にとつて睡眠は食  
物よりも大事です。  
四〇日間断食しても人間  
は生きていますが、一〇  
日以上  
眠らな  
いと死  
んでし  
まうと  
いわれ  
ます。  
人間ばかりでなく動物も  
同じようです。動物の中  
で睡眠の一番短いのはへ

食べることは  
大事です

び類で二時間前後、人間  
は八時間が適当だといわ  
れておりますがしかしこ  
どもは一二時間ぐらい、  
赤ん坊  
は一四  
時間ぐ  
らいと  
いわれ  
ます。  
いねは一七時間、一番  
長く眠るのはねこで一九  
時間だそです







## 老人クラブ総会

### 八〇〇名が

### 一堂につどう

#### 若がえりの秘けつを 聞く老人クラブ総会

昭和三八年、老人福祉法制定以来、その主旨にそつて私達の三股町においては各地区に老人クラブが続々誕生、現在二四のクラブが結成され、その会員は一、二〇〇名を数えるに至つております。

これ等のクラブはそれぞれ明るく、楽しくと私達の町の明朗化に貢献しております。

老人クラブは楽のしい集い、年を忘れて若くなる一年をとつても気持は若い七十、八十はまだっぽみ」と会場正面のスローガンも高々と、つどう八〇〇名の顔はまことにはつらつとして大会は明るいムードの中進められ、「新しい時代感覚を身につけた話しの分る老人にならう」とよく言われる「いがらせの年令」などはみんなも感じられませんでした。

八〇才以上の人、一六五人を代表して荒武国義さんが、又今年とつて九〇才になつた人、四人を代表して岩崎アキさんがそれぞれ記念品を受領しましたが、「まだだくしやくとして榮ある受賞はうれしくもありかなしくもあり複雑な気

ますが、去る九月一五日老人の日曜日に町内クラブ員約八〇〇名が一堂につどい、団結によつて我々の人生をもつともつと生きがいのある人生にしようとの町体育館に於いて第一回総会を開きました。

老人クラブは楽のしい集い、年を忘れて若くなる一年をとつても気持は若い七十、八十はまだっぽみ」と会場正面のスローガンも高々と、つどう八〇〇名の顔はまことにはつらつとして大会は明るいムードの中進められ、「新しい時代感覚を身につけた話しの分る老人にならう」とよく言われる「いがらせの年令」などはみんなも感じられませんでした。

最高令者は上米部落の桑木イワさん（中西恵氏の祖母）ですが明治三年一月一日生れ、当年とつて九五才。昨年に引き続き二年連続、最高令者の座を持続、孫達にあたたかくかこまれて、明るく静かに余生をおくつております。

九月一五日、老人の日に町長が自宅までお伺いし、その長寿をお祝い申し上げましたが、「あたしや一百づいどま一生さんそだー」と

### 上米の桑木イワさん

#### 明治三年生れ九五才

三股町には八〇才以上の女性よりが一六五名（男六〇名、女一〇五名）おり内九〇才以上の方は一四名（男一名、女一三名）生存しております。

最高令者は上米部落の桑木イワさん（中西恵氏の祖母）ですが明治三年一月一日生れ、当年とつて九五才。昨年に引き続き二年連続、最高令者の座を持続、孫達にあたたかくかこまれて、明るく静かに余生をおくつております。

赤ちゃんは平和よりの使者、そのあどけない顔、可愛いしぐさ、じつと見つめているだけで幸せを感じます。

赤ちゃんは平和よりの使者、そのあどけない顔、可愛いしぐさ、じつと見つめているだけで幸せを感じます。

旺盛で、そしてよく眠ることこれが長寿の秘けつです。余生を楽のしめ、自らの努力によつて喜びと明るい生きを送り度い」と専かくしゃくとして壮んなさまが見られました。

最後に「我々は覺悟を愈々新たにして團結を固め老いほれることなく、はつ

らつとした若さにかえり、がら気を持ち直して専かくしゃくとして壮んなさまが見られました。

最高令者は上米部落の桑木イワさん（中西恵氏の祖母）ですが明治三年一月一日生れ、当年とつて九五才。昨年に引き続き二年連続、最高令者の座を持続、孫達にあたたかくかこまれて、明るく静かに余生をおくつております。

赤ちゃんは平和よりの使者、そのあどけない顔、可愛いしぐさ、じつと見つめているだけで幸せを感じます。

#### 桑木さん

#### 祝いを受ける

桑木さん

### 秋の乳児検診

### 標準以上が三五%も 一等に ちゃんが

正香 桐勝 美志 柳園 橋田

町、秋の乳児一齊検診が行なわれました。が、一等に三名の参加者を見

て、会場はまさに喜びと笑いと可愛しさが一ぱいでしめた。それぞれ検診及び個人指導が悉切ていねいに行なわれましたが、「あたしや一百づいどま一生さんそだー」とまだだくしやくとしてさすがに最高令者としての自信と意欲の程が伺れます。

赤ちゃんコンクールの入賞者は次のとおりです。  
男　　園田勝正　野元章司　竹田廣樹　崎田輪子　柳橋志美香  
女　　有川祥一　栗野文子　田畠美津子　中石聖子　西沢成人

